

令和元年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	麻生区第3グループ(白山・麻生)	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H30		R1		H30		R1	
	1 白山こども文化センター ①年間延べ利用者数	29,469人	21,095人	②年間延べ利用団体数	1,340団体	901団体		
2 真福寺小学校わくわくプラザ ①登録者数	173人	176人	②年間延べ利用者数	11,577人	10,144人			
1 麻生こども文化センター ①年間延べ利用者数	27,055人	24,438人	②年間延べ利用団体数	185団体	167団体			
2 麻生小学校わくわくプラザ ①登録者数	377人	385人	②年間延べ利用者数	17,040人	17,004人			
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 79,739,347 補償金 354,253 合計 2 支出 人件費 66,661,747 管理費 6,307,113 事務経費 3,905,798 その他経費 3,718,048 合計 80,592,706 3 差引 -499,106							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全な育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・麻生こども文化センターでは、保護者等からの要望を受けて、新たな事業として、乳幼児親子支援研究機構から講師を招いて「まご家族とおつきあい」を行い、乳幼児親子の家庭や祖父母等が参加し、それぞれの悩みや実情等について話し合うなど、利用者の満足度向上につなげた。 ・麻生こども文化センターでは、老人いこいの家と連携し、新たに「フルーツ&ピアノ演奏を楽しもう」を実施し、小学生親子や高齢者との多世代交流につなげるとともに、夜間の利用も可能であることを広報したり、団体利用者同士の交流を促進することができた。 ・麻生小学校わくわくプラザでは、新たな事業として、麻生老人いこいの家との連携による「昔遊び」や、地域講師を招いた「落語にふれよう！」を実施し、児童の多世代交流や地域交流を促進した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ及びセルフモニタリング	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		セルフモニタリングについて、適切に実施しているか。			
		利用ニーズの把握、セルフモニタリングの実施の結果、業務改善につながっているか。			
	苦情等への対応	利用者からの苦情や指摘事項、意見への対応などが適切に行われているか。	5	3	3
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体、地域住民、施設等との連携がなされているか。	10	3	6
施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4	
わくわくプラザの充実	・①わくわくプラザ多世代交流促進事業、②学習タイム、③わくわくプラザメール配信サービス、④「地域の寺子屋事業」との連携(実施していないわくわくプラザについては、実施に向けた検討・調整等)について取り組み、わくわくプラザ事業の充実を図っているか。	5	4	4	
(評価の理由) ・利用者ニーズ及びセルフモニタリングについては、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定や購入図書選定のほか、要望の多い事業を増やしたり、運営に反映させている。麻生こども文化センターでは、日々の聞き取りや保護者懇談会で把握した要望に応じて、おむつ替えスペースを充実させるなど、利用者のニーズを汲み取って運営・業務の改善に繋げている。また、法人作成様式を用いたセルフモニタリングを実施、職員で結果を共有し運営の振り返りに役立てている。 ・苦情等への対応について、苦情処理の体制・手順について整備され、相談窓口について利用者へ周知されている。結果として、大きな苦情事案はなかった。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、学校との連携により特別支援級の教室を適宜活用する他、巡回相談員と密に情報連携を行いながら、児童の特性に応じてプラザ室内の設備等を見直すなど対応に努めている。 ・学校及び行政機関との連携については、区役所やプレスト&イメージングセンターと連携して「乳がん卒乳」を実施し、利用者の満足度向上に繋がった。 ・施設・事業の広報については、新たに地域版のこ文だよりを発行するほか、麻生こども文化センターにおいて独自のポスターを製作して近隣の商業施設や自治会に配布するとともに、こども文化センターだよりの配布にあたり、白山愛児園や麻生郵便局、地域カフェ等と新たに連携するなど、積極的な広報活動に努め、乳幼児の利用者の増加につなげた。 ・わくわくプラザの充実については、日本女子大学付属高校演劇部員と共同で「ミュージカル&交流会」を企画したり、上麻生隠れ谷公園クラブと連携して「秋の自然さんぽ」を実施するなど、多世代交流推進のための新たな取組を実施した。また、学習タイムに際してテントカードを各テーブルに置いて保護者にも分かりやすい掲示をしたり、真福寺小学校の寺子屋「わかたけ」と連携して寺子屋行事「和太鼓を聞く会」に参加したりと、様々な工夫をこらしてわくわくプラザ事業の充実にも努めた。					

組織管理 体制	こども文化センターにおける適正な人員配置	・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①館長1名配置、②スタッフリーダー2名以上配置、③館長とスタッフリーダーの勤務を割り振らない日が重ならないように配置、④利用時間を通じて常勤職員1名以上配置⑤常勤職員配置1名の場合パートナーを配置、⑥12時30分から18時まで常勤職員2名以上配置(常勤職員を配置できない場合、常勤職員1名につき、パートナー2名の配置) 「川崎市契約条例」が遵守されているか。	5	3	3	
	わくわくプラザにおける適正な人員配置	・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①長期休業日等の開室時間の延長対応、②放課後児童健全育成事業の対象児童以外の利用児童概ね20名につき、チーフサポーター1名以上配置、③参加児童数の多い時間帯に学校の特別教室等を使用して、複数箇所に分かれて事業を実施、④わくわくプラザ事業に、月～金の9:30から18:00まで常勤職員を配置 「川崎市契約条例」が遵守されているか。	5	3	3	
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。	10	4	8	
	個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども文化センターの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>わくわくプラザの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>職員の研修体制については、職員が市の研修を受講するとともに分野ごとの法人としての研修が行われている。予め研修計画を立てた上で館長主導で各職員の研修受講の促し及び管理を行っている。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員が報告しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧できる等、知識を共有している。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>						
適正な業務 実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備(AEDを含む)の保守・点検を適切に行っているか。 建築物定期点検及び建築設備定期点検の実施が適切に行われているか。 備品等の管理が適切になされているか。	5	4	4	
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。 施設の防犯対策に工夫がなされているか。 災害発生時に備えた対応が図られているか。 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。	10	3	6	
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザともに、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に麻生こども文化センターでは、乳幼児室のスイッチの場所が一目でわかる工夫をし、乳幼児室の利用のしやすさ向上に努め、白山こども文化センターでは、集会室に網戸を設置し、害虫の侵入を防ぎ、利用者の安全に配慮している。</li> <li>利用者の安全確保については、法人作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、各事例の館長会議での共有及び事例検討会などを開催し議論を重ね、職員等の意識向上を図っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul>					
	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3	
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。 支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。	5	3	3	
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な金銭管理・会計手続について、法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされている。</li> <li>受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している他、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かした全グループ合同行事、区合同行事等に加えて、各館独自でも様々な事業を行うなど、グループ全体で豊富な行事を行った。また、施設・事業の広報として、こども文化センターで独自ポスターを製作するとともに、掲示場所も自治会、郵便局、スーパー、カフェ、商業施設など幅広く掲示を依頼し、地域住民に対して施設・事業の理解を深めている。さらに、わくわくプラザにおいても、多世代交流事業の推進、学習タイムの充実、寺子屋事業との連携をそれぞれ進め、事業の充実を図っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後は、利用者の発案をより積極的に取り入れ、異年齢、多世代交流に繋がる事業を実施するとともに、企業との連携により、子どもの安全・安心な居場所の提供だけでなく、多世代交流や多様な体験ができる育成事業に努めること。また、新型コロナウイルスの感染予防のための「新しい生活様式」を踏まえたこども文化センター及びわくわくプラザの運営に取り組むこと。験ができる育成事業に努めること。